

**閱 覧 用**

**令和4年度「市民と議会の懇談会」  
テーマ別意見交換 意見一覧**

**境港市議会**

# 市民と議会の懇談会 テーマ別意見交換 意見一覧

(令和4年11月14日(月)~17日(木))

11/14(月) 外江ふれあい会館

## 【Aグループ 担当議員：景山議員(進行)、松本議員(記録)】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- ・市議会が一番身近な選挙。
- ・議会の場だけで話をするのではなく、実際に出向き、気軽に集える場所、会って発言ができる場所をできるようにすれば良いと思う。日常いろんなところがある。
- ・政治について全般的に関心がない。選挙に行きたがらない。どうやったら若い世代が分かってくれるのか。
- ・女性議員が少ない。

### ■地区・コミュニティなどについて

- ・コミュニティが崩壊している。葬儀は、かつては相互扶助で、近所の付き合いが濃かったがそれがなくなったという話があった。都会化してしまった。
- ・なぜコミュニティが壊れたのか。若い人がいないのか。市が道をなげっぱなしにしたから。車時代になったのに、道は昔のまま、子ども全部外に出て行く。境港市が全部直さないと若い人が出て行ってしまう。外江のまちの中は、空き家。車社会になったときから、市が一生懸命考えないといけない。
- ・どこかの会社が土地を買い取って分譲したところは広い。市の欠点だと思う。家族と一緒に住んでないから、コミュニティが崩れる。
- ・計画をもってほかの都市はやっている。それをしないから減っていく。米子はやっている。赤字でもやっている。
- ・今、空き家が増えている。
- ・夕日ヶ丘がどんどん売れる。それで地価が伸びて。宅地が下がっている。
- ・自治会要望を出しているが、とっってもお金が無理だと。毎年出している。小学校のグラウンド、駐車場なんか。何年越し。
- ・外江は小学校と公民館がすぐ横にある、駐車場もあるのは魅力だが、穴があく。毎年直してもらっているが、舗装となると高額。
- ・廃棄物処分のところで、ガラスくだったものを、砂利と一緒にになって舗装しているところがあるが、ああいったものはどうか。

### ■その他

- ・親の子への教育が足りない。小さい頃からの教育。子への虐待についても、その親が子にそういう教育をしている。

## 【Bグループ 担当議員：平松議員(進行)、田口議員(記録)】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- ・(議会に)あまり興味がない。何をしているのかよく分かってない。本当に興味がない。生活している中で、困っていることはあるが、声を上げて言うまでにはいかない。どうやって伝えていくのか手順も分からない。伝える手段が分からなくて止まっている。その辺の発信を分かりやすく伝えられるような体制になれば誰でも意見を言いやすい。
- ・市議会の情報を目にする機会がない。議会だよりを見る程度。議会だよりで予算の金

額を円グラフで示し、どういった予算が予算の中で占めているのか、福祉、土木、そういったものが一目でぱっと分かればいい。境港市が何に力を入れているのか分かるものが。市報の中で、予算を見た。興味がないと見ない。

- ・ケーブルテレビの契約をしていないから、市議会の様子を見ることがない。インターネットでも何でもいいが、市議会の重要なところをピックアップしたものを流すようなところもあっていい。
- ・議会が何をやっているのか見えないという意見が多い。それは見ようとしてないから。見る気がない人間がいくらやっても、そういうことを言う人ほどおかしい。

## ■地区・コミュニティなどについて

- ・一般の人と議会に距離を感じる。問題は各地区で起こっている。公民館がつなぐ役割をすると思うが、行政のプロでないので、なかなか大変。各公民館の担当みたいな職員がいると、現場の声を集約して、議会に伝えたらいいとか、そういうことをやる仕組みがあるかなと。つなぐ人がいる。自治会要望は区長から直接くる、ほかの案件はつなぎ役が必要。議会、役所に声を届けるパイプ役が不足している。
- ・公民館で公運審がある。定期的に出てきてもらってもいいのではないかな。
- ・以前中浜の公運審に安田議員がいて、知らない情報が議員から直に伝わったというのはいいことだなと。市民の皆さんは議員のほうから直の声が伝わると親近感がわく。
- ・自治会要望事項、そういうのを出すのは、市役所の仕事だが、決めてやらんといけんということもあるだろうから、その辺に議員も加わったということになれば、議員も動いてくれているんだなというのは分かる。自治会長が話をするだけで、検討するとかそれだけの話。本来、自治会としては議員を必要としている。今年度予算でやりますとかっていう話を聞くが、結局優先順位など、議員が説明してもらえれば。
- ・議員と自治会と交流がない。
- ・自治会で一番問題なのは、役員になる人がいない。定年延長で65歳は当たり前で、下手すると70歳も仕事をしている。意見を取り上げる場所というのを作ってもらえれば。特に若い人の意見。今、若い人との繋がりが少ない、小さい組織ですらそう、ましてや議員はいわずもがな。
- ・結局同じ人の負担になる。
- ・若い人に関心を持ってもらう。
- ・コロナで何もできない。提案もできない。自治会も縮小して。関心を持ってもらわないと、市政も関心がないと。
- ・議員のほうから、自治会の会合とか何月は行きますよというような参加意思伝えて、来て話されてもいいのではないかな。自治連の会合も月1回しているので3か月に1回は出るとか。若い人は全然来ないし、強制的に役員させようかみたいなことも議論してもいいのでは。これだけ人が集まらない。住民で遠慮せず話せばいい。義務感を与えないとだダメ。
- ・高齢の人が多くということ。施設の階段がとても不安、エレベーター付けるのは難しいと思うが、もう少し高齢の方が。スリッパで歩くのも危ないと思う。
- ・自治会長の負担が多い。自治会から、子供会から、何から何まで。なった人も大変。そのお仕事を少しお手伝いする仕組みがある。公民館職員さんは、公民館の運営のことでいっぱい、いっぱい。月に1回の自治会の連合会とかに、市の職員も議員もよければ来てもらって、月1回くらいはお話をするという仕組みがあってもいいのではないかなと思う。公民館と役所と議会を結ぶ市役所職員を配置するべきでは。皆さん相談するところがあるといい。集まる仕組みがあるといい。

## 【Cグループ 担当議員：伊藤議員（進行）、森岡議員（記録）】

### ■人口減少などについて

- ・人口減少、施設が増えてない、子どもも増えていない。
- ・お金を出せば視線が向くわけではない。子どもたちを集めるイベントでもあれば。
- ・出生数 200 人切った。小規模保育園 2 園追加。小規模保育園の入園児は減ってきている。子育てするなら境港市、2 年後、5 年後の保育園、小学校どうするのか。全然分からない。
- ・具体的なものがない。米子市は具体的な方針を出している。
- ・地域を挙げての催しなど、コミュニティ・スクールについて、議員はどのように考えているのか。どのように地域を盛り上げているのか。保育園、幼稚園には情報が入ってこない。
- ・コミュニティ・スクールは、今までもしていたこと。保育園も小学校と交流していた。やっていることを行政と地域とが一体となっていないと、教育委員会がしていると、保育園が関係ないとなる。そうではない。
- ・文科省と厚労省の縦割りがあある。爆破予告があったときも、保育園には連絡がない。コロナも同じ。保育園で出たら、子育て支援課へ報告、小学校で出たら教育委員会。小学校の情報入ってこない。保育園の子の小学生の兄弟でコロナが出たら保護者から情報を聞くしかない。
- ・2,3 年後の保育園のあり方、考えていかないといけない。税金を使って、保育園改修しているのに、2,3 年後の保育園のあり方のプランがない。

### ■外江地区関係について

- ・外江でグラウンドゴルフをすところがない。市有地があり、大きな、きれいな広場になれば。
- ・昨年、自治会要望に出しているところ。市が道をつけるつもりで購入。長さはあるが、幅がないのがネック。自治会が管理することにしたい。地元が草刈りは勘弁してほしいと言う。管理も問題。自治会が使用する場合、市役所は管理はしないと言う。自治会に管理してと言う。
- ・市としては前向きに検討すると言われたが、管理の問題。
- ・わかまつ幼稚園の跡地もある。県の補助が入っているとのこと。耐震の問題でもう使えないとのこと。あそこを自治会として要望したい。今壊すと補助金を返さないといけないとかというのがある。

### ■その他

- ・市の中心が、清掃センターと墓地。商業施設や買い物ができる場所が真ん中にあれば。真ん中が墓地と清掃センターっていうのはどうなのか。
- ・マリンスポーツ、スキーが両方とも 1 時間以内でできる場所。こんなすばらしいところはない。自衛隊の方たちは、みんなここに戻ってくる。

【Aグループ 吉井議員（進行）、安田議員（記録）】

■市民の議会・政治参加など

- ・普段から市民と顔の見える関係性を構築することが大切。遠い存在ではいけない。
- ・議員は自身の公約を訴えて当選しているが、市政にどの程度反映されているのか。あと、市民に分かるような、もう少し分かりやすい公約を掲げてほしい。
- ・傍聴に行けない。議場が市役所3階にあるが、2階に階段で上がるのも大変。エレベーター設置とバリアフリー面の改善が必要ではないか。
- ・行政言葉が難しい。分かりやすい言葉で伝えてほしい。

■その他

- ・車社会で自転車が安全に通れるところがない。いろいろ相談をして、例えば実験的でも、少しでも自転車が楽に通れるようにすることなど調べてみてはどうか。
- ・Uターンして何かできないかと思い、芝桜の管理をボランティアで手伝うようになったが、小学生があいさつをしてくれる。勇気になるし、とてもうれしい。

【Bグループ 足田議員（進行）、荒井議員（記録）】

■市民の議会・政治参加など

- ・懇談会のような会への出席は高齢の方が多く、若い人の出席が少ない。若い人が取り残されていないか。
- ・議会に話をするよりも、執行機関である行政に話をした方が早いと思う。議会が住民の意見を吸い上げるといふこと、その意見が市政にどのように反映されていくのか、住民は分かっていないと思う。
- ・議員は、市民がどう考えているのか情報を得るために、いろんな人から話を聞く必要がある。その上で物事を判断できれば良い。一部の意見だけではダメ。多様な意見を集めるシステムを作っては。
- ・県政モニターは最近スマホでも参加できる。市もモニター制度を作ってはどうか。
- ・請願陳情が採択となったあと、その請願陳情の内容について最終的にどうなったか分からない。
- ・小中学生を議会へ招待してはどうか。
- ・全体共通のテーマとは別に、子ども世代、子育て親世代、働き盛りの世代など、年代別にテーマを分けて、世代ごとにマッチしたものにしてはどうか。

【Cグループ 米村議員（進行）、永井議員（記録）】

■市民の議会・政治参加など

- ・今年2月の島根原発2号機再稼働の住民投票条例制定の直接請求の署名した人は住民参加となるのではないか。残念ながら議案は否決された。住民参加の芽を摘んだことになった。
- ・議会だよりで陳情が不採択となったのはどこでわかるのか。また、先ほどの議会報告の説明で、当初予算総額、補正後の予算総額はどこに書いてあるのか。  
→市報には載っている。議会だよりには載っていないので、編集担当の広報部会にいただいた意見を伝える。
- ・議会としてでも良いし、議員個人でも良いが、議員が地域に出向き、小グループで話せる場を作ってはどうか。膝を突き合わせて話をする場は必要。犬山市議会行っている

フリースピーチの取組はおもしろいと思う。

- ・女性目線が必要。子育て中の母親や主婦層など。懇談会の開始時間の配慮を。あと、どんどん情報発信をしてほしい。情報を受け取る側は取り逃すことがあるので。

#### ■その他

- ・米子空港駅周辺が汚い。古い自転車が積みあがっている。管理がJRなのかどうか定かでないが、観光地なので市で片付けてはどうか。

【Aグループ 伊藤議員（進行）、景山議員（記録）】

■市民の議会・政治参加などについて

- ・議員数は今より少なくてもいいのではないか。極端なことを言えば地区に窓口1つあればいい。意見を吸い上げる制度ができれば、別に今の数いなくてもいい。
- ・女性議員を育てるということを市議会としてどう考えているのか。いろんな会派があるので、その応援とか秘書とか、そういうところから育て上げることができないのか。
- ・きれいごとを言ってもだめ。女性が半数以上いないと議会成立しないよというくらいやらないと。
- ・まずは、女性議員が立候補すること。やられる方がリーダーシップを持っていたら自分でやられる。地域におけるリーダーシップを取ってもらえる方が全て少なくなっている。そういう場に、女性がいたらいいものになる。
- ・女性議員が多いところは、どうして女性議員が立候補するのか。考えるところだと思う。そういう話もいろいろすると、変わってくるだろう。また市民にそういう話を出されれば、やってみようかと出てくる女性もいるのでないか。すごい議員も大変だと思うのでそれを取り囲む人を育てる。
- ・商工会議所、婦人会なんかでも話を聞くが、ああいう組織から推薦とか。組織って強いと思う。何かの力を出していただければ。
- ・議会中継について、テレビ離れの時代にケーブルテレビを観ているか疑問。若い人たちに、議会を見てもらおうと思うなら、ネット配信などどこでも見られる状況を作らないと。
- ・市民に関心がないというのは、議会が面白くない、魅力がない。一般市民には、「何言っても、あれはもうで決まっている、言ったって駄目」と思っている人も多いかも。
- ・小学生など対象の議会見学会を。まして、議場に車椅子の人が上がれないというのはいかななものか。パートナーシップ宣誓制度をする前に、エレベーターなりつけて、誰でもが気軽に議会に入れるような状況を作らないと。南部町なんか、1人の身しょう者のために、中学校に即エレベーターをつけた。
- ・議会だよりに議決の一覧があるが、このページだけ字が小さくて見えない。同意とか、△の説明を書いてもらえれば。
- ・一般質問で、発言通告がない方が活発になるのでは。大方のこういう質問をしますということで用意しといてくださいと言えば、そのほうが活発で面白いのでは。
- ・もっと前向きに取り入れて、どんどんやっていただかないと、市民は議会に興味を示さないと思う。いろんなことされて、興味を持ってもらわないと。来ている方は、皆さん興味があってきている。たくさんいろんな人を議場に。

■その他

- ・今回、ゴミ袋の斡旋販売があった。市のほうで定価で注文を取って。トライアルがポイントが付くのでと。市のほうもポイントを付けては。

【Bグループ 永井議員（進行）、田口議員（記録）】

■市民の議会・政治参加などについて

- ・ひと昔前は、議員に頼めばいいということがあった。今、そういう時代じゃないのも確か。では、どこへ言ったらいいかは誰も分からない。1校区1人の小選挙区と比例代表と両方作ってやったほうがいいのか。議員15名のうちの7名は各校区から1

人必ず出す。あとは比例代表で。校区で人が偏りすぎている。

- ・要望など、議員を介してやるのが、一番いいのかと思っている。市長と語る会はよかった。そこで直接要望、それが実際に実現していることが結構ある。コロナで中止残念。議員が今までよりも、自分の地域を含めて歩いて回って、御用聞きというか、何か困ったことないか聞いてまわるのも、今のコロナの時期は必要ではないか。
- ・市民の声を市政に反映させるための方策。地道にこういう懇談会や市長と語る会とかやって積み重ねて。もうちょっと時間がかかるのではと思う。
- ・2か月に1回とか市のほうで組んでもらって、各自治会に向かって。それなりに、区長さんは参加されると思う。最低でも2か月に1回ぐらいはこういう場を開催するのも助かる。
- ・第何号議案とか言うが、何の議案か分からない。見ても分からない。
- ・議会を傍聴される方はどれくらいあるか。小学生や中学生が見にくることもあるのか。
- ・議会だよりができてからやるのはいいが、定例会終わったら、必ずこういう会を開いてもらい、議会でこういうことになった、こんな話が決ったとか、報告をされて、次の議会までの準備もあると思うので、市民からの要望を聞いてやっていけば、もう少し関心持ってもらえるのでは。

## ■その他

- ・最近の旅ブームで、この辺りに来る人は多い。問いに答えられるよう職員に歴史をもっと勉強してほしい。
- ・渡19区から海岸までの湾岸道路について、釣り人のマナーが悪く、1回市役所の環境衛生課までポイ捨て禁止看板を作ったと言ったが、国土交通省所管とのことで、国土交通省に言ったら、それはうちの区域でないとのことだった。結局、全然横の繋がりがなく対応してもらえなかった。大橋がきれいであり、もっと綺麗に清掃してほしい。自転車しか走ることができない。中海の横に広い道路がある、そこにベンチでも置いてもらえたらと思う。
- ・思いつくことがたくさんあり、短い時間で伝えるのが至難の業。少し前にあった住民投票。住民の意思を重く受け止めるということだと思うが、却下されたよう。原発の再稼働。原発の政策について吟味したうえで。
- ・けやき通りがどんどん切られた、どのくらい交通量が通ったかは言わない。原発問題で、八束町から来る。ベタ踏み坂は大混乱。渡漁港が立派になったが、誰も行かない。渡漁港のPRが必要。松江のほうの情報が欲しい。
- ・ケヤキ並木切られたが、道路拡張は当然のこととして受け入れるかもしれないが、先に知らされたい。
- ・境港市に景観条例はあるか。
- ・空中給油機の説明会が2回あったが、計画すでに進める前提の説明会だった。

## 【Cグループ 安田議員（進行）、平松議員（記録）】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- ・中・高校生に対して議員が学校に出向いて話をしたり聞いたりしては
- ・若者に市政対して興味をもってもらうことが将来的に重要であると思う
- ・模擬議会の開催
- ・選挙・政治に対する子供たちへの意識啓発を
- ・議会モニターを
- ・地区ごとに問題や課題を聴取する仕組みを作っては



- ・この懇談会の時間は、女性や子育て世代には出にくい。
- ・保健師さんなどが公民館などにふらっと来て、気軽に声掛けし、話を聞かれることがある。議員も出かけていけば。
- ・「自由未来」の会派の名称の意味は。

#### ■その他

- ・渡の道路状況改善について昔の話を今頃されるのか、如何なものか？
- ・鬼太郎列車、鬼太郎空港があるが鬼太郎丸といった船を作ったら。他に無いものをつくる。
- ・中海の利活用がどのような現状か。漁業や産業の場としての中海を。

【Aグループ 足田議員（進行）、森岡議員（記録）】

■市民の議会・政治参加などについて

- ・議員は大した活動をされていない。市民との対話が必要。
- ・地域のイベントに出て声を聴く。
- ・興味がない人もこうなればというのは何かしら持っている。
- ・無関心な人の声をどうやって拾うか。
- ・色々な世代の人が面白いと思う仕掛けをどう作るかだと思う。

■自治会について

- ・自治会が合併して大きくなると顔が分からなくなる。コンパクトな方が顔が見える。大きい自治会は班を分けている。若い人がいても結局、自治会活動には年を取っていても出られる人が出てくる。若い人は休みが大事。若い人を出させようと思ったら難しい。

■Iターンについて

- ・鳥取市はIターンに力を入れている。境港はどうか。
- ・Iターンは自然の中で農業をするイメージ。境港にIターンはしない。

【Bグループ 加藤議員（進行）、荒井議員（記録）】

■市民の議会・政治参加などについて

- ・議会こそ市民が参加できないようにしている。まず議会が日中、傍聴しかできない、発言もできない。参加するわけがない。仕事を休んで、議会傍聴しに行って、黙って見るだけ。その制度を作っているのはあなた方議員。議会を夜間に開催せずに、意見表明ができないようにしているのは議会。市民が議会に参加できないようにしているのは、あなた方。
- ・何もやらないよりはいい。愛知県犬山市議会で市民フリースピーチ制度。これをやって議会そのものを、こんな感じで夜間に開催すれば、仕事が終わってから参加できる。
- ・実際、この会は夜間に開催するわけだから。全く同じに考えて、機会をつくれればいい。あと傍聴だけじゃなくて、参加した人のフリースピーチ。こういう形であれば参加できる。
- ・議会だよりを出されたので、こういうことを話しているのというのは一応分かる。これは一歩前進、見やすいし、字も大きい。ここはよく作ってある。
- ・この会の取組はけっこうなこと。
- ・年寄りには昼のほうがいい。働いている方は夜。昼と夜とやるとか。
- ・うちの会でも話が出る。年寄をメインにしようか、若い人とやろう、時間帯考えんととか、いろんな会議である。
- ・議会を中海で放送している。聞こうと思うところが聞けない。YouTubeでという話が、これがあるといつでも見られる。早くやったほうがいい。あまり得意ではないが、YouTube見たりはできる。
- ・議員が各地区にいる。自分の地区以外を知らなさすぎる。何を話そうとしても何もできない。実態が離れすぎていて、地域の課題から離れすぎて、言ってもしょうがない。言っても響かない。
- ・議員は言ってもやってくれない。
- ・理解されているかというところがある。理解されていたら、話をすれば分かる。

- ・議会放送を見ても、中身にばらつきがありすぎ。
- ・市から仕事をもらうと、しがらみがあって、文句言えない。そんな人たくさんいる。自分で事業やっている人。しがらみのない人しか文句言えない。遠慮しあっている。

## ■自治会・民生委員などについて

- ・地域の本当に困っているところを。そこらを逆に聞いて欲しい。自治会なんか閉塞している。
- ・自治会長が会費を集めて、これだけ貯まったと喜んでいる。お金をためる組織じゃない。やることのないのなら、タダにするべき。
- ・自分の自治会は半値にしている。ある部分は必要だし、逆に余っている分は還元。何かやりたいが、できなかつたらそうする。2年半額にしている。気持ちは何か集まって、何とかみんなの顔を見ながら、一杯飲みながら元気という、その思いが強い。
- ・自治会の掲示板回覧。通常隣にまわして。私が入っている班の場合だと、あっち行ったりこっち行ったりしている。これ直すからねと、前の班長に言ったら、やめてくれ直さないでと。意識が何にもしたくない人が多い。
- ・境地区は高齢化が見た目以上に進んでいる。役員のなり手がなく、一番困るのは民生委員探し。連合会長が推薦するようになっていく。いろいろ探してまわるがいらない。市役所の人、いろいろな担当部署がある。顔も広い。なんとかしてくれないか。この人がいるとかでも、情報提供してほしい。すぐ動いていただいて、担当課長をとおして、皆さんに話をされた。結局なんにもない。市から出てくるかと思っただけ、一切ない。
- ・今、切羽詰まっている。それは次のステップの話。今、なくていいのって。ほかの民生委員さんが、自分たちみんなしわ寄せがくる。そこだけほつたらかしのできない。ほかの人がフォローに入る。余計負担がかかる。そこら辺がよく分かっているのか。議員も、市長も言われるけど、共助とか、本当に分かっているのか。現場とあまりにも離れている。今後の話は、今後の話として、こんなふうにしましょうというのはいい。民生委員に限らず、世話焼きがいらない。
- ・市がある程度リストも持っている。境の地区は、自治会が41ある。41あって、何がどうできるのか。
- ・昔、元気ある人が。それは昔の話。時代が変わってきている。早くしないと。1人が7つも8つも自治会持っている。その人が辞めたら、どこに頼むのか。
- ・会議のたびに、再編成ということにしている。いろんな資料を作って皆さんに説明して、何とかしなきゃいけないってやっているけど、今の状況見ていると、一番いいのはブロックかな。町の道路がある、このくらいならなんとか1つになる。そんな感覚で考えていかなければと思ったりもしている。
- ・道路をはさんでいる。難しい。
- ・何町、何町がある。これが分かれている。まず、これがある限りはどうにもならない。となりの町と云々の話じゃない。それ以前の話として。
- ・竹内のほう、今、民生委員さん2人いない、余子地区で2人決まらない。境は5人改選で、今ようやく私も無理いって自治会長に頼んだりして、もう1人頼もうかなと思って、最後の一番大きいところの、花町は200世帯いる、ここでもどうにも。
- ・市が直にいくとやられる。普段は自治会には口出しできないと言っている。頼むことはどんどん頼む。口出せないと言って、頼むときは来ると。余計怒る。
- ・自治会長する人もいない。自治会解散すると言われるところもある。解散したらだれが困りますかと。困るのは市でしょ。そのわりには、市は何もしない。
- ・前の市長にお願いして、合併するまでいったが、自治会費もばらばらだし。うまくなる

ように面倒見てくれないかと市長にお願いした。助成金を出してもらったが、今年で終わる。それ使ったのが、外江。境は20以下のところがたくさんある。この前、浜ノ町に民生委員を頼みに行ったときに、自治会の世帯数しか分からない。行ってみたら、アパートの人がどれくらいおるよと。入っているけど、一切なにもしない。企業が入っている。実際は少ない。中身知ったら、余計言えない。

- 各エリアで物を言う人はいるはず。その人たちを集めて、言う会を作るほうがいい。少なくともこの集まりに来るということは、意識を持っている。その人達を一同に集めて、言わせてみると多分何か出てくる。
- 境7地区あって、それぞれ違う。自治連合会で災害の排水の問題困っているところが多い。ゴミの問題、どの地区もそう。自治会に入っていない人が投げっていくと。写真とっている。猫の問題も。

### ■その他

- 空き家に猫が住み着いている。空き家は難しい。餌やる人も多い。
- 空き家の植木、管理する人がいない。シルバー人材センターに頼んで植木の剪定してもらおうと、隣の人が勝手に剪定の職人さんを使って、空き家の植木を勝手に切る。そんな資格ないと思う。

## 【Cグループ 吉井議員（進行）、岡空議員（記録）】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- 議会だよりはけっこう分かる、見やすくなった。
- 市民と議会の懇談会は夜。日中というのとは考えられないか。
- 町内会長さんが多い。日中だとどうかな。
- 議会は来ない。PTAは来ない。昼間のほうが集まる。
- 7時半って、9時だと年寄はこない。提案で。日曜日はしなくていい。案外、土曜日のお昼とか。
- 夜の会合は疲れる。
- 女性はたぶん出にくい。

### ■自治会・民生委員などについて

- 歩いて5分のところに13自治会ある。だから連合自治会長さんが、いろいろ問題ができると大変。公民館も大変だが。
- 今は元町は商店街がすくなくなった。
- みんなが、合併にこだわっている。昔、納税組合があったので、合併じゃなくて、区みたいにしたらいいのではないか。
- 中町と末広だけど、その町名は残してでも。中町、末広で、1班、2班、3班…で町内ですよというふうになれば、8町内くらいが1個になる。
- まずは防災組織が手始めかなと。おいおい町内を作ればいい。
- 栄町とか松ヶ枝町のあたりは、結局子どもたちが、どこか別の町に家を建てる。そうすると壊すしかない。廃屋、空き地、栄町の場合も。
- 今、民生委員が見つからない。3人見つからない。花町と栄町のあたりが。独居の人への配食もある。自治会長や公民館や民生委員が大変な思いをしている。外江も合併した、中浜は団体連絡協議会を上手にやっている。うまく連携している。議員も、こういう話の会を、年に1回ではなくて、2月に1回や3月に1回くらいは、一緒に会をもたないとだめ。いつまでも連合自治会長にばかり言っても。市役所も交えて。
- こんなはずじゃなかった。こんなに仕事が多いのかと言われる。共同募金もあるし。境

地区の民生委員でも違う。自分のところ町内だから楽だわとか、5つも6つも町内を分らないといい、地区を聞く人もいるし。そこがネック。

### ■水路について

- ・栄町は南北に水路がある。とても老朽化というか、危ない状態。
- ・1回、数年前に、市役所のほうで溝の中を清掃、点検に入った。建物のある下は崩れかけて手がつけられないということ。
- ・掃除は何回かしてもらっている。NTTのところが油臭い。溝川が臭い。

### ■観光ボランティアについて

- ・境港観光ボランティアの次の会長。水木ロードを、JRのディスカバーウエストハイキングを御存知か。米子、倉吉、鳥取、境港。それはお金をいだたく、日曜日だけは。JRの関係なので。500円は交通費でもらう。平日は無料。正月とお盆だけ休み。無料なので、夏場ゲタを買ったり、帽子やらジャンパーやら防寒着が必要。そういうお金も市からは1円も受けていない。JRから出してもらったことはある。だけど、市のほうは1円も出していない。境港観光ボランティア、前は市民ボランティアセンターに観光ボランティアの会もあった。だけど、JRからお金を1円でももらったら、ボランティアセンターとは切り離して、通帳を作って、別の会をしてくださいと。今年から、会長兼会計で。お金をくれとは言わないけど。それでも夏場のポロシャツくらい支援を。市役所も養成講座をして、ガイドさんを養成したが数年後にはみんな辞めてしまう。
- ・観光協会は500円のガイドブックを1冊だけくれた。帽子やシャツくらいは年に1枚くらいあげるならいいが。

【Aグループ 加藤議員（進行）、米村議員（記録）】

■市民の議会・政治参加などについて

- ・今日は非常にいい場。普段議員が直接住民の声を聞くチャンスはいろいろあると思う。一つ残念なことは、議会の中でおそらく現場のことはわからないだろうなど。現場のことを市長も議員も現場をもうちょっと分かって欲しいという気持ちはある。ただそう言っても、みんな現場見に行っただけでチェックしてといっても時間がない。
- ・気になることを10個言ってもらって、それに対して議員が、どう判断するか。選挙される時には、自分がやったことに対して、自分はこうやってこうなったけど、こうだったということをつけて欲しい。公民館の入口の貴金属回収の箱、どのくらいの使用率か分かるか、1つでもそういうことをチェックされましたかってこと。お互いにチェックして欲しい。
- ・市民もきちんと、議会だより読んでるかという読んでいない。
- ・今、コミュニティ・スクールがはじまった。具体的に地域総がかりでという話がある。その前に、選挙さえ半分しか行ってないのに、学校のことを誰が考えるのか。自己肯定率が低いとか、個人主義とか、他の人を出し抜いてでもいいという感じ。ボランティアのことで言えば日本は先進諸国の中で最低。地域で後継者がいないこと。みんなを世話する人がいない。もう1つは、人のことを考えない。どういうふうに変えていかなければいけないか、大きい問題。市も一緒になって、進めていかないと、個人社会になってしまう。
- ・地域の人の声で、はまる一歩バスの乗車券を早く買わせてもらいたいというようなことがあって、市役所へお伝えしたが変えられなかった。それで議員に頼んだら、それが改正されることになった。議員のおかげで地域の人の声が市に伝わった。
- ・困りごとを、区長に言ってこられる。区長が全部意見書を書いて、自治会長と連名で市役所にあげる。必ず返答がくる。
- ・町内の細々した困りごとは自治会で。
- ・一職員が市役所に伝えても改善されなかったものが、議員を通せば伝わるのかと。地域の声を聞いて伝えたつもりでも。
- ・今日の会でしたことが、どれくらい反映されるのか知りたい。回答が返ってこない。
- ・100人が100人違うこと言うので、それ全部取り上げてもととてもできない。ある程度意見を集約して。

■荒廃地関係について

- ・畑やっているが、まわりは草だらけ。
- ・もう少ししたら、放置されたところをある程度まとめて。農地法とかでがんじがらめ。強制的にやらないと。
- ・土地は負の財産。市も農業担当部署ある。進まない。
- ・地下水も問題があって。下が水。かさ上げしないと。ソーラーパネルの下で栽培作物あるが、上げておけば。コストかかるが。
- ・とにかく土地が狭い。芋を作るのは悪くないが。
- ・畑でどうこうは、ちょっと難しい。中野町、専業農家はゼロ。若い人がネギしていたが、1年でいなくなった。若い人には無理。ボランティアでやるのは楽しいが、生活では難しい。年金があるからできる。荒廃地だらけ。
- ・農業での収入があれば若い人もやるが。大変な作業。

- ・和田なんかは岡野農場が大根を作っていた。大きな会社に来て、しないとダメ。
- ・誠道でもやっておられたが、里芋と大根されていたが。その後聞かない。
- ・町内であれだけあった農家がゼロ。若い人がやってくれることが一番いい。
- ・空き家対策、人口も減ってくるし難しいのでは。

## 【Bグループ 松本議員（進行）、荒井議員（記録）】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- ・政治参加の1つの大きな参加の仕方、選挙における投票があると思う。昔は国政選挙の投票率80%を超えていた。現在50%。それを何とかしなきゃと。議員の方で具体的な取組みがあれば。
- ・テレビで見たが、日本で一番投票率の高い村の一つの理由として、高校生の議会をやっていて、具体的に予算を与えて、そこで決まったことを実際に行っていた。言ったことが反映される。そういうことを高校生が体験する。これはすごいと思う。参考になればと思う。大事なのは予算つけたこと。声聞くとか、懇談会をするのではなく、最初から予算つけている。決まったことを何かする。自分たちの言ったことがなったというのが、実際になったというのが若い人たちの力になって、それが将来の投票に繋がる。
- ・市民の声を捉えますから、何でもしますということでは議員としての存在価値ないと思う。私はこんなことするんだと、だから私を選べと。選んだら、自分がしたいと思うことを取り組むというのが本来の姿。民主主義というのはそう。行政というのは実行部隊。それを動かすのは市民。

### ■その他

- ・現実として、不法投棄が多い。清掃センターはとってくれる。防犯カメラまで。お金をかけて、効果があるのか心配。
- ・商品券を配ったが誰が発案してやっていったのか。効果はあるのか。1億7000万も使って。もっと効果的な使い方があるのではないか。国からの指示でやったというんだったら主体性もない。
- ・経済効果をどうはかるかを考えて欲しい。
- ・再生可能エネルギー、太陽光発電に1億8,000万かける。今、太陽光発電しても売電収入がないから、蓄電池で蓄えて自分で使うときにさらにお金をかけてこういう設備をする意味が。財源にならない。
- ・財源に充てるなんて書いたらダメではないか。多くの損失はあるけど、これがあるからこれをするという書き方しないと。源に充てるのであれば、何年からいくらの財源になりますと数字で言わないと。数字でもっと話を。
- ・市民交流センターの開館記念事業。催しものに対して890万の補助をしたとある。これは市民に対して、公にこういうようなものをするなら補助しますというような広報があったのか。記念事業を一発でやるのであればいいが、事業の内容によって、団体に対する補助金制度というのをちゃんとつくって広報するべき。

## 【Cグループ 柘議員（進行）、景山議員（記録）】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- ・懇談会の説明はPDFで映して説明した方がよい。
- ・請願陳情がなぜ不採択となったかの説明がない。
- ・二中のあたりの農地が使われていないので、使われるように考えてほしい。

- ・本会議のテレビ中継の再放送は1回のみだが再考を。
- ・議会だよりの原発2号機再稼働の住民投票の賛否表示は良い。

#### ■自治会などについて

- ・コミュニティに入っていない、市報も来ないといった人にどう対応すれば良いか。自治会加入率は65%しかない。ごみ一つとってもトラブルがあるととても時間が掛かる。

#### ■空き家について

- ・美保町内の空き家について、今後どう対応していくのか。
- ・いろいろな知恵を持った方が沢山いる。議員が直接聞いて市長や執行部が実施すればいろいろと変わってくる。考えてほしい。
- ・空き家バンクの登録の仕方が分からない。情報不足。
- ・危険家屋は市が業者と確認に来るが進展がない。行政代執行に二の足を踏んでいる。市民から見るともどかしい面がある。



【Aグループ 松本議員（進行）、平松議員（記録）】

■市民の議会・政治参加などについて

- ・本会議のケーブルテレビの中継開始となっているが。中海テレビは加入していない。当然、本会議見られない。直接インターネットで観られる環境を。
- ・Zoomとか携帯端末で流せることもあると思うが。
- ・自治連で会議はするけど、議員に聞かなければいけないのは、お金のかかることについて。住民で自治会に入るかどうか、市から強制するのかわからないのか。一般的には市民税払ってれば市民だからいいが、自治会とは関係ないという市民もおる。これからの課題。消防団に人がいない。それも同じことだと。
- ・市民からすると議員に話をすれば、何か答えが返ってくるということで、情報を得るにはいいかと思う。
- ・全国的に議会への関心はなくなっていると思う。何が原因か。もう少し議会が市民の身近なところにあるためには、市民の出やすい土曜日曜に傍聴時間を設けるとか、情報配信も一方通行みたいなの。自治会の中に議員に入って、結論が出なくても意見交換するとか。
- ・高校生が議会に入るっていうのもやっているところある。
- ・インターネットでの配信。若い人を対象。お年寄りにはパソコンもない。
- ・インターネット、SNSを提起してあるが、有効なのかどうか疑問ある。これも必要だと思うが、こういったものに関わりがない人に対して、どうやって情報発信していくかも非常に難しいところ。
- ・議会だよりは市報にはさんでくる。誰もが見ているかは分からない。

■その他

- ・みなとテラスの中央郵便局の前の道路の外灯が昼間もついているという人がいて、その人に、直接市役所にもつたいないと言うように言ったが敷居が高くて言えないとのことだった。
- ・道路と敷地に段差がある。最初はプランターが置いてあった。少ししたら取ってしまい、そうしたら車が落ちてしまった。
- ・ホワイエの中の照明は点けている。天気が悪いときには照明があったほうがいいかもしれないが、日があっているときは必要ないのではないか。
- ・ソーラーパネルも結局半永久ではないから。機会が結局駄目になったら、取り替えないといけないし。廃棄のお金もかかる。どっちが良いとも言えない。

【Bグループ 岡空議員（進行）、景山議員（記録）】

■その他

- ・空き家の問題は、市としては把握をしているのか。
- ・空き家はそのままにしておくでどんどん痛む。ある程度何かしていかないと。新たに住むということは、なかなか現実的に少ない。市が音頭としてやらないと。
- ・解体すると固定資産税が上がる。所有者がはっきりしているのか。住む人と所有者が違う。その辺が、市役所に聞いても個人情報で教えてもらえない。聞いても分からない。なかなか困ることがある。
- ・側溝を真っすぐにしたらいい。斜めになる。無駄なこと。
- ・古い家を解体するのはいいが、それを片付けることができていない。廃棄物はお金が

かかる。

- ・市に寄付するというのがあるが、市も買わない。崩れかかって危ない。
- ・農地の話、放棄地がある。農地しているが、隣の土地が草が生え放題。あれをなんとかできないか。
- ・草を燃やしてはダメということになると、清掃センターに持って行かないといけない。乗用車で持っていけない。猫車で持っていてももちが明かない。その処分どうしたらいいのか。多少、草を燃やすくらい勘弁してもらわないと。やりにくい。
- ・綿の取組はいいと思う。
- ・去年すごく集中豪雨あった。公民館避難所もいっぱい。降るときはものすごく降る。下ノ川は海水が入ってくるから鯉が泳いでいる。もし両方からあったときは、水浸しで避難所まで行けない。大正川と米川、強制的に排水しないと、そのときにはいけない気がする。降ってからは間に合わない。
- ・海からくるのを止めて、ポンプでかえないと。下の川から側溝があると逆流してくる。

## 【Cグループ 加藤議員（進行）、足田議員（記録）】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- ・具体的にいつからタブレットは持つのか。YouTube 配信とかは、米子などもしているのか。
- ・つぶやきを拾っては。若者を議会に。中学生を議会に。
- ・いつ議会を行うか分からない。若い人は平日出れない。休日なら。
- ・身近な人から議員が出ると関心が広がる。それが子どもに伝われば興味が広がる。
- ・ある程度テーマをあげて、こういうことがしたいがってあると分かりやすい。

### ■その他

- ・図書館について。今年度 3 月末で県から来ている副館長がいなくなる。正規の職員がいらない。はこがあっても、ものがあっても駄目。学校図書館も一緒。人が大事。せっかくいい図書館があるのに、もったいない。人にもっとお金を使うべき。どうにかして欲しい。

【Aグループ 安田議員（進行）、吉井議員（記録）、森岡議員】

■市民の議会・政治参加などについて

- ・こういう場で話せるというのはいいことだと思う。どうやったらいいか分からないが、働いている世代の人にも来てもらいたい。
- ・現実として、やっぱりこういう平日でないと集まらない。休みにしたら、今度は家庭サービス、その他があるから、また余計に集まらない。現実、今はもうコロナしか頭がないから、何を考えてもコロナで済まそうという感じ。だから、集まらんのは当然じゃないかなと思う。
- ・11月は会合がすごく多い。防災やら次から次へと。市から。

■誠道地区・旧誠道小学校について

- ・誠道町自体が、落ち込んでいく感じ。小学校が閉校するとき、小中一貫校にするんだと。数年かかるが分離型にするというのはどういう意味なのか。分離型は今の格好と同じなのか。分離型にするのは、一貫校にしても何の意味もない。このあとどういう考えでもって行くのか。
- ・説明会を受けて、二中の横に小学校建てて、小学校と中学校が一貫校。分離型にしてどういうメリットがあるのか。
- ・閉校して3年。少しは例えば7年先に小中一貫校があるとか。その工程を検討してほしい。
- ・やめるときに何回もいろんな話があって、だからここを廃校にするんだと言ったときに、泣いて頼んでも、決まっていることだということで、ずっと乗り切られてきた。何でもいから、空き地自体がもったいないと言ったら、あれは何も使えないと。やめるために、いいことばかり言っただけで。問題ありきであんなこと言ったのか。
- ・市議会で取り上げてもらわないと。
- ・どのくらいのメリットがあった。ここの町のデメリットがどのくらいだったのかくらい調べないと。小さなアンケートはあったけど。
- ・やる気がないから、みんななくなった。本当にやる気を出すと、広島にいたときなんか、境から竹内の工業団地、あの土地を買ってもらえませんかと営業に来ていた。それくらいやってほしい。本当に何に使えるか検討してもらって。本当にやるつもりなら、もっと県外に出て営業しに行かないと。
- ・町内で使うのは体育館くらい。ちょうどコロナもあって運動会もなかった。今になっては、草が生えて。思うようにいかないが、体育館は使っている。
- ・誠道小学校のグラウンドについて、トイレだけ綺麗に整備して、ドックラン作ってみるとか。オートキャンプ場みたいな、車で泊るなどしてもいいのかなと。そこから電車に乗っていけば駐車場の心配もないし。そこに泊ったら、家族往復分ちょっと安く電車乗れるとか。はまる一ふバスも、ここから駅に行こうと思うと、1時間ドライブしないと着かない。
- ・旧誠道小の話は何か言うと市街化調整区域だから…というふうになる。
- ・雇用促進を早く壊してほしい。幽霊屋敷みたい。草が生えて、トタンが風が吹くとバタバタ音がして。貸しトランクにするとか。物置にするとか。

■その他

- ・コロナについて、感染者の数を市として数字を上げれば、もっと危機感も持って、感染減少につながるのでは。それがはっきりと分かればもっと危機感を持ってね、行動が

- できると思う。それが減少に繋がると思う。
- ・原発の避難訓練。毎年同じような人が行く。意味がない。実際行動できる人がどれだけいるか。もう少し、みんなが参加するような。
  - ・原発の避難訓練って風上に逃げないと意味ない。西風が吹いて東に逃げたれ意味ない。

## 【Bグループ 伊藤議員（進行）、田口議員（記録）、柘議員】

### ■市民の議会・政治参加などについて

- ・申しあげることないが、あまり情報が出てこないから、議会だよりを見るとこういう考えでやっているのか分かる。普段付き合いがないが情報発信してもらおうとよく分かる。
- ・議員は何をしているのかという声が入ってくるのは多い。
- ・せっかくこういう会を開いても、興味を持つ人が基本的に少ない。
- ・手っ取り早いのは、個人的に付き合うこと。議員と親しくなって話すと、自分達の考えを言って、議員の考えも聞くということで会話が広がる。いろんなテーマについて話し合える。
- ・市民が議会でどうこう言うのは好きではない。議員に取り上げてもらって話をしてもらい決めてもらう。会議的なことになると、お金配ったりするより、旧誠道小学校に使用って欲しい。個人的な意見。老人福祉センターも直さないといけないと思う。
- ・公民館で議会中継を見る人はほとんどいない。質問が長い。あれをまとめたものがあればいい。編集大変だと思うが。見る人がいるのではないか。ダイジェスト版とか。そういうのがあれば、興味のある人は見ることはある。

### ■旧誠道小学校について

- ・旧誠道小学校の跡地利用について質問しており、誠道小学校のことを思ってやっているんだなど分かる。市民が提案したことを、議員の力を借りて、市のほうに、行政のほうに言ってもらいたい。
- ・他の廃校利用の状況など見て、もうちょっと考えて行政はやってほしい。

### ■その他

- ・精神障がい者2級3級の方の特別医療への市単独補助の要望を、市と議会に出し、議会で採択してもらい現実に予算化された。病院に行くのをいろんな理由から我慢して、引きこもりをしていた子たちが、補助をつけていただいて、実際病院にかかるかことができているという状況を聞いている。市、議員には非常に感謝をしている。